

らず、現在のところ岡山県内の確実な生息地はここだけである。しかし、この生息地についても、遷移が進んでおり、ノイバラ、ミヤコイバラ、ヨシなどが繁茂しているので、数年後には本種の生息環境として適さない状況になることが予想される。

末筆ではあるが、倉敷市立自然史博物館の奥島雄一博士、愛媛大学ミュージアムの吉富博之博士には原稿を校閲いただいた。また、山地 治氏には、県内における本種の情報を御教示いただいた。これらの方々に対し、厚くお礼を申し上げる。

#### 引用文献

- 森 正人・北山 昭, 2002. 改訂版 図説 日本のゲンゴロウ. 231 pp. 文一総合出版, 東京.  
岡山県生活環境部自然環境課編, 2010. 岡山県版レッドデータブック 2009 動物編. 416 pp. 岡山県生活環境部自然環境課.  
山地 治, 1990. 岡山県より採集した甲虫類の記録. すずむし, (124): 11-19.

(〒717-0513 岡山県真庭市蒜山下和 1077  
真庭市津黒いきものふれあいの里 渡部晃平)

#### 【短報】屋久島産ツツヒラタムシ科2種の記録

ツツヒラタムシ科は、一般に日本では採集記録が少ない甲虫で、日本からは6種が知られている(Sasaji, 1993; Aoki, 2008). そのうちの2種、ツツヒラタムシ *Ancistria apicalis* Reitter およびクロサワツツヒラタムシ *Ancistria kurosawai* Sasaji が屋久島から記録されている(Satô, 1970; Sasaji, 1993). 筆者は屋久島初記録と思われる1種を含む2種のツツヒラタムシ科甲虫を所持・採集しているので報告する。

#### ツツヒラタムシ *Ancistria apicalis* Reitter

1ex., 鹿児島県熊毛郡屋久町花山歩道, 16. VII. 2001, 向山敬延採集; 1ex., 屋久町原, 23. IX. 2002, 同採集者; 1ex., 同採集地採集者, 1. V. 2004; 2exs., 同採集地採集者, 25. VI. 2004; 1ex., 同採集地採集者, 12. VII. 2004.

Satô (1970) および Sasaji (1993) により屋久島から既に記録されている。

#### ルイスツツヒラタムシ *Ancistria lewisi* Reitter

1ex., 鹿児島県熊毛郡屋久町中間, 1. V. 2004, 田中 稔採集.

佐々治(1985)は九州を分布地として挙げており、屋久島初記録と思われる。

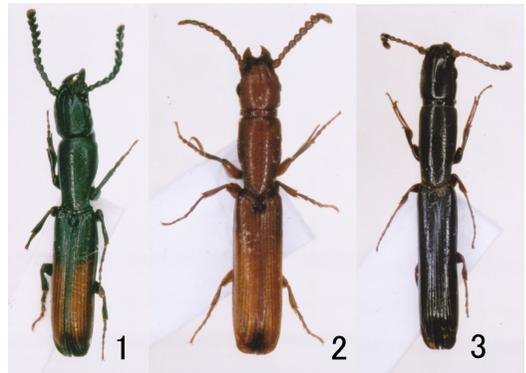


図1-3. 屋久島産ツツヒラタムシ類. 1, ツツヒラタムシ; 2, ツツヒラタムシ(テネラルな個体); 3, ルイスツツヒラタムシ.

標本を提供して頂いた向山敬延氏、文献についてお世話になった大平仁夫氏にお礼申し上げます。

#### 引用文献

- Aoki, J., 2008. A new species of *Passandra* (Coleoptera, Passandridae) from Japan, formerly classified as *P. trigemina* (Newman). *Elytra*, Tokyo, 36(1): 37-41.  
Satô 1970. Miscellaneous notes on the Coleoptera-fauna of the Ryukyu Archipelago, III. *Bulletin of Japan entomological Academy*, Nagoya, 5: 30.  
佐々治寛之, 1985. ツツヒラタムシ科, p. 199, pl. 32. 黒澤良彦ほか編, 原色日本甲虫図鑑 (III), 保育社, 大阪.  
Sasaji, H., 1993. Contribution to the taxonomy of the superfamily Cucujoidea (Coleoptera) of Japan and her adjacent districts, VII. *The Memoires of the Faculty of Education, Fukui University, Series II (Natural Science)*, (44): 17-25.

(〒663-8002 西宮市一里山町 19-18  
田中 稔)

#### 【短報】東京都におけるナカネダルマガムシとハセガワダルマガムシの採集例

ナカネダルマガムシ *Ochthebius nakanei* は, Matsui (1986) が熊本県菊池溪谷産をもとに記載したダルマガムシ科の小甲虫である。

吉富ら(2000)は、原記載地に加えて愛知、栃木、新潟の各県からの既知産地をまとめ、新たに栃木、山梨、大分から記録を追加している。同時期に、豊田(2000)も埼玉県から記録しているが、その産地は概して少ない。

筆者は、東京都の奥多摩町で本種を採集しているので記録しておく。

5exs., 西多摩郡奥多摩町留浦三沢(峰谷川), 21. V. 2011; 25exs., 奥多摩町大丹波真名井沢, 12. VI. 2011;